

## 令和5年度 指定管理施設運営状況中間評価表

### 1. 施設の概要

施設の名称	むつ市下北自然の家	
指定管理者	団体名	一般財団法人 むつ市教育福祉振興会
	代表者	理事長 櫻井 以文
	所在地	むつ市大畑町観音堂25番地1
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	1、施設の使用許可に関すること。 2、施設の利用料金の徴収に関すること。 3、食事代、クリーニング代及び教材費の徴収に関すること。 4、青少年の集団宿泊生活の指導及び助言に関すること。 5、野外活動、体育及びレクリエーションに関すること。 6、自然観察その他の自然に親しむ学習活動に関すること。 7、施設の維持、管理及び主膳に関すること。 8、施設の特性を生かした利用促進に関すること。 9、その他施設の設置目的を達成するために必要なこと。	

### 2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額①	上半期実績額②	増 減 (②-①)
収入合計(A)	99,068	49,279	▲49,789
うち利用料金額	8,350	3,935	▲4,415
うち指定管理料	90,688	45,344	▲45,344
支出合計(B)	99,068	43,282	▲55,786
うち人件費	61,588	30,640	▲30,948
収支差 (A-B)	0	5,997	5,997
市への納入金			
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>収入</p> <p>収入合計のうち、利用料金額は年間計画額8,350千円に対して、上半期実績額は3,935千円だった。計画に対する達成率は47.1%となっている。</p> <p>今年度の上半期利用料金額(3,935千円)は前年度同期(3,213千円)と比較すると、722千円増加となっている。増加の主な要因は、スポーツ団体等の宿泊利用である。</p> <p>支出</p> <p>支出の執行額は、年間計画額99,068千円に対して、上半期実績額は43,282千円だった。計画に対する執行率は43.6%となっている。今年度は経年による施設設備等の修繕があったほか、利用者の利便性を図るために研修課の体制を4人から5人にして欠員を補充したことから、前年度上半期実績額(39,482千円)に比べ3,800千円増加した。</p>		

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
	宿泊	1,500	566	▲934
	貸館	150	57	▲93
	食事	13,000	6,952	▲6,048
	リネン	2,500	1,083	▲1,417
	教材	2,500	1,655	▲845

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有) 無)

主催及び自主事業参加者、受入各団体に対し利用者アンケートを実施している。また、利用団体との打ち合わせの充実を図り、団体の事前の要望を聞き対応している。

各事業の利用者満足度に加え、基本的な生活の制限も緩和されたことから、上半期においては昨年度より利用者数も回復しつつある。今後も利用者満足度を意識し、利用者数増加に取り組む。

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
健康づくり「春」	49	56	43
ファミリーキャンプ	18	77	70

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A (優 良) : 計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B (適 正) : 適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準で達成できることが見込まれる。

C (要改善) : 指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評 価 項 目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B

③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

## 6. 指定管理者総合評価

<p>㊦指定管理者は当該評価期間における自己評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、改善策も記載すること。</p> <p>今年度も利用者及び施設の安全を確保するとともに、利用促進を図り利用料金の獲得に向けてサービスの向上に取り組んだ。</p> <p>上半期の利用状況は、利用団体数 166 団体（前年度 160 団体）、利用人数 2,976 人（前年度 2,676 人）、利用延べ人数 4,292 人（前年度 3,938 人）となり、前年同時期と比較し、利用人数は 300 人増加し、利用延べ人数は 354 人増加した。団体利用が計画どおり実施されたことで利用人数の増加に繋がった。下半期も冬季の利用促進を図ることとしており、積極的な広報活動を展開して、利用増加に向けて取り組む。</p>
--

## 7. 市の所管課総合評価

<p>㊦所管課は当該評価期間における総合評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、指導内容も記載すること。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類となった事に伴い、利用が活発になったことにより、スポーツ活動などが積極的に展開されてきた。むつ市内での宿泊場所が常に空きがない状況もあったことから、多くの利用が見込まれたものと分析している。</p> <p>主催事業及び自主事業、出前授業などの調整を図りながら、多くの利用またはリピーターの獲得を目指して活動されていた。全国的に新型コロナ、インフルエンザなど感染症が猛威を振るっているが、利用に対しては気をつけながら対応していたと考える。従来の取扱い方法を見直し、対応した業務については、後で確認が出来るよう様式を作成して保存していることから今後の施設管理のしやすさに繋がっていくものと思っている。</p> <p>施設建設から多くの年数がたっていることから、修繕が必要なもの、計画的に交換していかなければならない備品など、施設を運用する上で欠かせないものについて、優先順位をつけて対応していくために情報を密にやりとりする必要がある。</p>
---